

◇牧師室から◇

「日本基督教団」と「沖縄キリスト教団」は1969年に合同した。この合同は大が小を飲み込む吸収であったと「合同のとなえ直し」が20年以上議論されている。この11月に行われる教団総会に沖縄教区から「日本合同キリスト教会」という名称に変更しようと議案が出されている。神奈川教区は、この問題の学びを深めようと沖縄教区議長の名嘉隆一牧師を招いて研修会を持った。名嘉牧師は、合同問題は沖縄の歴史、文化に関わる根深さがあると語り出された。沖縄は過去の歴史において、主体的な主張をしたことがなく、常に大きく強い者の言いなりになってきた。島津藩、日本、アメリカ、そして日本と屈從的な支配に甘んじた。合同の時も沖縄の教会は「日本キリスト教団」にしようと提案したが、本土の教会は名称変更には莫大なお金がかかるからと、沖縄の教会だけに名称変更を承認させた。名嘉牧師から、本土の教会は沖縄の教会に対して無責任であっ

たという訴えを聞かされると予想していたが、師は主体的な言葉を持たなかった沖縄の歴史や文化から自己批判的に話し、政治的ではなく教会的に考えてほしいと語られた。聞いていて胸が痛んだ。ところが、質疑応答の時、「沖縄の教会は本土の教会に何をしてほしいのか」と高飛車に問う質問があった。言葉を尽くして語っても、聞く耳を持たない人もいる。

最近、政治家、官僚、企業人、しかもトップの人々のお金に関わる不正事件の報道が異常に多い。以前からあったことが不景気の今、吹き出しているのであろう。私たちは批判的な視点を欠いて、与えられた状況をそのまま甘受してきたのではないか。名嘉牧師が言葉を失ってきた沖縄を自己批判的に語られたように、「板に乗せられ人に運ばれている」病んだ自分を認識する必要がある。イエス・キリストが「あなたの罪は赦される」と宣言すると、自分の足で立って歩いた。福音は人に流されない自分の生き方を持つことである。

週 報

1998年11月15日 降誕前第6主日

巻19

33号

1998年度 教会主題

「恵みの座に近づこう」

聖句 だから、憐れみを受け、恵みにあずかって、時宜に
かなった助けをいただくために、大胆に恵みの座に
近づこうではありませんか。

ヘブライ人への手紙 4章16節

- 目標 1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
2. 一人が一人を伝道する。

日本キリスト教団 横浜港南台教会

横浜市港南区港南台7丁目8-29

郵便番号 234-0054

電話 045-833-5323

F A X 045-833-6616

振替 00290-4-13994

牧師 秋吉隆雄